

## 平成18年度「専修学校を活用した職業意識の啓発推進」成果報告書

事業名	群馬県「職業教育フェア」（平成18年度）		
法人名	社団法人群馬県専修学校各種学校協会		
学校名			
代表者	会長 中島利郎	担当者 連絡先	下田秀之 TEL 027-256-7000
<p>1. 事業の概要</p> <p>当協会の主催による第3回職業教育フェアの開催、第2回働くこと職業に関する作文コンクールの実施と成果の周知により、職業意識の啓発推進を実施した。</p> <p>2. 事業の評価に関する項目</p> <p>①目的・重点事項の達成状況</p> <p>当初計画した「職業教育フェア」の開催（パネルディスカッション、イベント、職業体験、職業教育の紹介・進学相談）、並びに、「働くこと、職業について考える」作文コンクール（作品の公募、優秀作品の表彰、同作品集の配布による啓発促進）の事業をすべて実施した。</p> <p>②事業により得られた成果</p> <p>広く群馬県民、特に中学・高校生を中心とした若者層に対して、職業に就くことがいかに大切か、職業教育がいかに重要かを周知し、職業意識・勤労意欲を高めるため、「職業教育フェア」の成果内容を、群馬県下で最大発行部数を誇る地元紙「上毛新聞」の紙面において発表を行い周知することができた。また働くことの作文集は、県内の中学校・高校に配布し、職業教育に大いに役立たせることができた。</p> <p>③今後の活用</p> <p>1) 今年の実績の成果は、職業教育フェアでのパネルディスカッションの広告物や、作文の優秀作品集となっているので、中学生、高校生の職業教育への活用をさらに促進する。 2) 来年度の職業教育フェアも、今年の実績を踏まえて開催していく。</p> <p>④次年度以降における課題・展開</p> <p>1) 職業教育フェアへの参加規模は、おかげさまで年々拡大しているが、来年以降さらに学校やクラス単位に参加を促したい。 2) 開催場所が群馬県庁でわかりやすいが近隣の施設でイベントも多く、いろいろな行事が重ならないよう工夫したい。 3) 作文コンクールは優秀作品を作品集として配布することに最大の意義があり、これを教室で取り上げることが重要である。今後は、この作品集を読んで感じた感想も寄せさせていただけるよう考えてみたい。 4) 職業教育フェアも3回目となったが、さらに成功させるには中学・高校との連携が重要なので、県内各校に呼びかけ、より大きな成果を期待したい。</p>			

### 3. 事業の実施に関する項目

#### ①職業教育フェア・体験講座、パネルディスカッション、作文コンクールの実施

- 1) 職業教育フェアには、県庁、諸官庁、マスコミ、私学団体、加盟校の支援をいただき3,800名の来場があった。特に試食・試着・ネイル体験には大変人気があり盛況だった。進路(職業相談)、学校紹介についても場所がら気軽に話が聞けたと評価をいただいた。
- 2) パネルディスカッションの開催時は来場者が多数あつまり、聴講者から質問もあって好評だった。
- 3) 今回の優秀作品は家業の体験や、身近な美容院での体験を取り上げたテーマで、広く職業意識を啓発せしめるための立派な内容だった。表彰式では話し言葉に問題がある生徒が受賞者となったが、立派に作文を朗読することができて感動的な場面があった。

#### ②その他

- 1) 7月に開催した第3回職業教育フェアには、前回は上回る入場者が見られたが、来場者が体験できるファッション、調理、ペット、デジタルデザイン、ネイル、福祉・介護のコーナーを充実して設置した。
- 2) 作文コンクールの募集期間が、毎年、夏休みをまたいで短くなってしまっているので、お願いできる学校にはクラス単位で応募をお願いした。